

平成 21 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 セブンシーズ・テックワークス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 川嶋 誠  
 (コード番号 2338 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 管理部長 村山 雅経  
 T E L 03-5225-9889 (代表)  
 当社の親会社 セブンシーズホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 藤堂 裕隆  
 (コード番号 3750 東証第 2 部)

## 業績予想の修正および営業外費用計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 27 日に公表しました平成 22 年 2 月期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）の連結業績予想、および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、営業外費用が発生する予定ですので、併せてお知らせいたします。

### 記

1. 平成 22 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 3 月 1 日 ～ 平成 21 年 8 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,580	△20	△27	122
今 回 修 正 予 想 (B)	1,616	△58	△86	78
増 減 額 (B-A)	36	△38	△59	△44
増 減 率 (%)	2.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期中間期)	494	△45	7	4

2. 平成 22 年 2 月期第 2 四半期個別累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 3 月 1 日 ～ 平成 21 年 8 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	221	△55	△30	△80
今 回 修 正 予 想 (B)	151	△62	△64	△118
増 減 額 (B-A)	△70	△7	△34	△38
増 減 率 (%)	△31.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期中間期)	303	△18	87	83

3. 平成 22 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 3 月 1 日 ～ 平成 22 年 2 月 28 日）  
（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,410	90	75	170
今回修正予想 (B)	4,410	90	47	142
増減額 (B-A)	—	—	△28	△28
増減率 (％)	—	—	△37.3	△16.5
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期)	914	△75	△212	△236

4. 平成 22 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 3 月 1 日 ～ 平成 22 年 2 月 28 日）  
（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	550	3	45	△15
今回修正予想 (B)	480	3	17	△43
増減額 (B-A)	△70	—	△28	△28
増減率 (％)	△12.7	—	△62.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期)	479	△64	△74	△88

5. 修正の理由

【連結】

第 2 四半期連結累計期間の売上高につきましては、ほぼ見込み通りの予想となりましたが、競合他社との価格競争等により、粗利益の低い案件が増加し、原価率が上昇したことに加え、下記のとおり、為替差損を計上する見込みとなったため、利益面につきましては、前回予想を下回る見込みとなりました。

また、通期連結業績予想につきましては、制作費用を圧縮することにより売上原価の抑制に努め粗利益率を向上し、営業利益は据え置き見込みとなりました。その結果、第 2 四半期連結累計期間の為替差損計上分を修正いたします。

【個別】

第 2 四半期個別累計期間の売上高につきましては、当初見込んでいた案件が失注し、当初の予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましては、外部に委託していた案件を内製化したために、売上原価が減少し、営業利益は売上高と比し、減少額を抑えられる見込みとなりました。また、連結同様為替差損の影響により経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。また通期個別業績予想につきましては、前述しましたとおり、引き続き内製化を推進し、営業利益は据え置き、売上高減少分および為替差損計上分の業績予想の修正をいたします。

6. 営業外費用（為替差損）について

当社は、親会社グループ会社に対して、設備投資資金や運転資金等として、ドル建ての貸付を行っております。為替相場の急激な変動により、為替差損を 28 百万円連結・個別共に計上する見込みとなりました。

なお、平成 22 年 2 月期末時点の為替相場の変動に伴い、為替差損の額は変動いたします。

以上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。